

2021年 入試改革

共通テスト「試験時間、配点」発表！

記述式見送りを受けた改訂版！

旺文社 教育情報センター 2020年1月29日

大学入試センターは本日、来年実施する初の共通テストについて、試験時間、配点、問題作成方針を発表した。これらはすでに一度、2019年6月に発表されているが、先月12月17日発表の共通テスト記述式の見送りを受けて改訂したものだ。

●2021年 共通テスト 出題科目／試験時間／配点

前回発表（「旧版」と表記）からの変更点…※で付記。／現行センター試験からの変更点…下線で表記。

教科	出題科目	試験時間	配点	備考
国語	国語	80分 ※旧版では100分に延長の予定だった。	200点 ※旧版では「記述式(小問3問)=段階別」が加わる予定だった。	●出題範囲は「国語総合」。 ●「近代以降の文章=2問100点」「古文=1問50点」「漢文=1問50点」。 ※旧版では記述式の出題範囲は「近代以降の文章」の予定だった。
地理歴史	世界史A／世界史B／日本史A／日本史B／地理A／地理B	1科目選択=60分 2科目選択=130分 (解答時間は120分)	各100点	●2科目選択の場合、同一名称を含む科目の組み合わせは不可。 ●受験する科目数は出願時に申請。
公民	現代社会／倫理／政治・経済／倫理、政治・経済			
数学①	数学Ⅰ／数学Ⅰ・数学A	1科目選択= <u>70分</u> (現在は60分。旧版で70分に延長され、そのままとなった)	各100点 ※旧版では記述式(小問3問)を含めて100点の予定だった。	●数学Aは次の3項目から2項目を選択。 ⇒「場合の数と確率」「整数の性質」「図形の性質」。 ※旧版では記述式の出題範囲は「数Ⅰ」の予定だった。
数学②	数学Ⅱ／数学Ⅱ・数学B／簿記・会計／情報関係基礎	1科目選択=60分	各100点	●数学Bは次の3項目から2項目を選択。 ⇒「数列」「ベクトル」「確率分布と統計的な推測」。 ●簿記・会計の出題範囲は、「簿記」および「財務会計Ⅰ」。「財務会計Ⅰ」の出題範囲は、株式会社の会計の基礎的事項を含めた、財務会計の基礎。 ●情報関係基礎の出題範囲は、専門教育を主とする農業、工業、商業、水産、家庭、看護、情報、福祉の8教科に設定されている情報に関する基礎的科目。 ●簿記・会計、情報関係基礎の問題冊子を希望する場合は出願時に申請。
理科①	物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎	2科目選択=60分	各50点 (2科目計100点)	●次のいずれかの方法で科目を選択。 【A】基礎2科目 【B】発展1科目 【C】基礎2科目＋発展1科目 【D】発展2科目 ●選択方法は出願時に申請。 ●各発展科目の大問の選択は廃止。
理科②	物理／化学／生物／地学	1科目選択=60分 2科目選択=130分 (解答時間は120分)	各100点	
外国語	英語／ドイツ語／フランス語／中国語／韓国語	1科目選択 ●英語 ・リーディング=80分 ・リスニング=60分 (解答時間は30分) ●英語以外 ・筆記=80分	●英語 <u>・リーディング=100点</u> <u>・リスニング=100点</u> (現在は筆記=200点、リスニング=50点) ●英語以外 ・各200点	●英語の出題範囲は、「コミュニケーション英語Ⅰ」「同Ⅱ」「英語表現Ⅰ」。 ●英語は原則、リーディングとリスニングの双方を解答。 ●英語リスニングの問題音声は「1回読み」と「2回読み」で構成。(現在はすべて2回読み) ●英語以外の問題冊子を希望する場合は出願時に申請。

※本記事は次の資料より作成(いずれも2020年1月29日、大学入試センター発表)
令和3年度「大学入学共通テスト問題作成方針」「大学入学共通テスト出題教科・科目の出題方法等」

なお、本記事では次のように表記している。

「前回(2019年6月)発表されたもの=旧版」、「今回発表されたもの=改訂版」。

●改訂版の注目ポイント

<国語、数学(I、IA)>

今回の改訂のポイントは、記述式に関連する国語、数学(I、IA)となる。

【国語】	配点	… 現行センター「マーク式=200点」 ⇒ 旧版「マーク式=200点」+「記述式=段階別」 ⇒ 改訂版「マーク式=200点」。
	試験時間	… 現行センター「80分」⇒ 旧版「100分」⇒ 改訂版「80分」
【数学I、IA】	配点	… 現行センター「マーク式=100点」 ⇒ 旧版「マーク式&記述式=100点」 ⇒ 改訂版「マーク式=100点」。
	試験時間	… 現行センター「60分」⇒ 旧版「70分」⇒ 改訂版「70分」

記述式がなくなったので、基本的にセンター試験に戻るイメージだ。ただし数学I、IAの試験時間は、70分に延長されたままとなった。

<実施スケジュール>

【実施日】
・1月16日(土)、17日(日)
【大学への成績提供】
・私立大=2月2日(火)から ※旧版では9日。
・国公立大=2月4日(木)から ※旧版では11日。
・国公立大の共テを課す総合型、学校推薦型選抜=2月3日(水)から ※旧版では10日。

共テの実施日は変わらないが、大学への成績提供が旧版から変更。現行のセンター試験と同様のスケジュールとなった。

【大学への成績提供スケジュール これまでの流れ】

- ・現行のセンターでは … 2月初旬
- ・旧版では … 上記より1週間後ろ倒しに(記述式の採点のため)
- ・改訂版では … 結局、現行同様に(記述式見送りのため)

旧版で予定されていた「1週間後ろ倒し」は、特に私立大の入試日程に大きな影響を与える可能性があった。これが現行同様となったことで、入試日程が大幅に変わる不安要素はなくなった。一方、国大協や公大協はすでに来年度の入試日程を発表しているので、出し直すことになる。

<大学へ提供される成績> ※【新規】は現行センターと比べて「新規」の意味。

【現行どおり】科目別得点、合計得点等。国語は大問別成績も。

【 新 規 】各科目の成績を段階表示したもの。

旧版からの変更は、国語記述式の成績がなくなった点。「各科目の成績の段階表示」は、以前から構想されていた9段階の成績表示、いわゆる「スタナイン」だ。

<実施後に公表する資料> ※【新規】は現行センターと比べて「新規」の意味。

【現行どおり】正解表等。

【 新 規 】スタナインの換算表(各科目の得点と段階表示の換算)。

これも記述式に関わる正答例などがなくなっただけで、ほかは旧版と変わらない。

上記のほか、改訂版には各教科の出題方針も示されている。これは旧版とほぼ変わらないため本記事では割愛したが、非常に重要だ。

確かに今回の改訂版は、記述式に関わる部分などについてはセンター試験に戻るイメージを抱かせる。しかし全体的には決してそうではない。全科目で思考力系の問題が出題されていくし、国語では「実用的な文章」が題材として扱われる。英語も大きく変わるし、理科も発展科目で大問の選択が廃止される。これらの点については、旺文社 教育情報センターの過去の記事(以下)を参照されたい。

【参考】

[<旧版>「共通テスト 教科別 出題方針」… 2019年6月14日掲載記事](#)